

令和3年度 学校自己評価表 評価シート

三次市立作木小学校

学校教育目標 ふるさとに学び たくましく生きる子どもの育成 一元気 本気で 最後まで				達成度＝達成値÷目標値×100 A: 目標以上 B: 達成度が目標の80%以上100%未満 C: 達成度が目標の60%以上80%未満 D: 達成度が目標の60%未満		学校関係者評価 A: 適切 B: 不適切 C: 分からない		
中期経営目標	短期経営目標	1年後に目指す姿(評価指標)	具体的な実践項目	10月	2月	評価結果と改善策	関係者評価	ご意見
				達成値	達成値			
確かな学力の育成	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。	① 国語・算数・理科・社会の単元末テスト80点以上の児童の割合が80% (中間評価…1～6年)	○ドリルタイム、常清タイムにおいて、「書きとり」「読みとり」「計算」を継続して練習し定着させる。					
		② 三次市学力到達度検査において全国平均を上回っている児童を70%以上。 (年度末評価)	○東書WEB等を活用し、個別最適な学びの充実を図る。					
	見方・考え方を働かせた指導から、説明力(思考力、表現力)を向上する。	① 三次市学力到達度検査(算数の活用)において、全国平均を上回っている児童が70%以上。 (年度末評価)	○「見方・考え方」を働かせた指導の在り方の視点から、一人年2回以上の授業研究を行う。 ○小中合同研修会を通し、説明力の質の向上をめざした授業改善を行う。					
	主体的に学習に取り組む態度を養う。	① 読書目標(1ヵ月)の達成率65%以上。 (実態調査) 低学年: 30冊以上 中学年: 350ページ以上 高学年: 500ページ以上	○「スタディ・ウィーク」「作木っ子の学びのすすめ」を活用する。 ○作木図書館と連携し、読書習慣の形成を支え、読書環境を整える。 ・本の紹介、読書カードへの記入 ・学級への本の貸し出し ・読書量の達成者への評価					
豊かで健やかな心身を育成	自己肯定感を高める。	① 学校生活に関する児童アンケート、i-Checkの項目について肯定的回答80%以上。 ・「自己肯定感」、「思いを伝える」、「お互いを認め合う」 ・自己評価・相互評価	○掲示等で見える化を図り、具体の姿で指導する。 ○児童会で月目標、全校での取組を仕組む。 ○学級会活動や児童会活動で集団遊びを計画し、異学年との関わりも深める。 ○学校生活のあらゆる場面で、協力して活動し、達成感をもたせる。					
	体力を向上させる。	① 新体力テストの全国平均以上の項目を70%以上。 (学年末評価)	○脚力・跳躍力を高める運動を取り入れる。 ○運動量を確保した体育の授業を実施する。 ○外遊びを奨励する。 ○めあてをもった体力づくりに取り組ませる。 (記録カード等) ○新体力テストの課題項目について、再テストで検証する。					
愛され、信頼される学校	学校への関心・信頼度を高める。	① 保護者・地域のアンケートにおいて、肯定的評価85%以上。 (情報発信・教育内容公開・学習発表会・学校満足度等)	○学校、学級、保健便り等の計画的な発行と日常的なホームページ更新を通して、情報情報発信を行う。 ○教育相談体制の充実を図る。					
		② 「作木ふるさと学習」後の児童の振り返りや手紙の内容から成果(感動・感謝・生き方)を検証。作木のよさを知り大切に思う児童の割合を90%以上。 (学年末評価)	○学習発表会や「作木ふるさと学習」等を他教科とつながりのある学びから、地域に関わり貢献しようとする児童を育成する。					